

各位

積水化学工業株式会社

開発研究所にイノベーションセンターを開設

～エレクトロニクス・モビリティ・住インフラ材の各戦略分野におけるイノベーション創出を加速～

積水化学工業株式会社(代表取締役社長:加藤敬太、以下「当社」)の高機能プラスチックカンパニー(プレジデント:清水郁輔)は、1961年に建設した同カンパニーの主要研究開発拠点である開発研究所(所在地:大阪府三島郡)内に、規模拡大とイノベーションのさらなる加速を狙い、水無瀬イノベーションセンター(通称 MIC)を併設しました。MICの概要等は以下の通りです。



MIC外観



MIC内観(1階)

1. MIC開設の「背景・ねらい」

当社は今年5月、2030年までの当社グループの長期ビジョン「**Vision 2030**」を制定し、このなかで、「**Innovation for the Earth**」をビジョンステートメントとして掲げ、イノベーションを起こし続けることにより、サステナブルな社会の実現に向けて、LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造していくことを目指しています。

また、前中期経営計画(2017年度～)より、“融合”を経営戦略上のキーワードとし、社内外の技術・機会・リソースの融合による新たな価値創出を図っています。特に高機能プラスチックカンパニーの3つの戦略分野(エレクトロニクス・モビリティ・住インフラ材)においては、通信業界における5Gの普及、自動車業界の自動運転を含むCASEの進展など、通信や自動車業界の変容に伴い、各分野を横断した人や情報の融合が、イノベーション創出のため重要になっています。

MIC開設により、社内外での融合を促進し、社会課題解決と当社グループおよび高機能プラスチックカンパニーの成長に資するイノベーションの創出をさらに推進していきます。

2. MICの概要

1) オープンイノベーションスペースの設置(展示・デモ実験エリア「テクノロジーガレージ」)

MICの1階部分を、お客様のためのオープンイノベーションスペースとしています。

同スペース内には、「テクノロジーガレージ」と名付けた展示・デモ実験エリアを設け、高機能プラスチックカン

パニーの最新技術・製品とともに、昨年制作したコンセプトカーを常設するほか、実験設備を備えた「ラボスタジオ」や打ち合わせスペースを併設。お客様との意見交換やプロトタイピングを促進し、スピーディーにイノベーションのタネを創出するとともに、お客様との関係強化も図ります。



2) 社内での共創を促進するオフィスのレイアウト・設備

2階～5階はアイデア創出スペース・オフィス・実験室・カフェテリアで、エレクトロニクスやモビリティ、住インフラ材など同カンパニーの各戦略分野の社員間の交流・共創を促すため、らせん状の回遊型通路を採用するほか、気軽に対話できるスペースを随所に設けるなど、設計上の工夫を施しています。これまで以上に、エレクトロニクスやモビリティ、住インフラ等の技術や知見を融合したソリューションが求められていることに対応し、社内の技術や知見の融合を図ります。



3) コロナ禍の中での社内外コミュニケーション推進

新型コロナウイルス感染防止の観点で、お客様との対面機会が抑制されていることも踏まえ、お客様とのウェブを活用した打ち合わせ・プレゼンテーションやプロトタイピング方法についても検討を進め、コロナ禍の中でもMICを社内外のオープンイノベーション拠点として効果的な活用を図ります。

4) MICの建物について

・所在地: 大阪府三島郡島本町百山2-1

(最寄駅: JR 京都線「島本駅」もしくは阪急電鉄京都本線「水無瀬駅」)

・階数: 5階建

・延床面積: 5,967 m²

